

2019年度 事業報告書概要

1. はじめに

2019年度の世界経済は、アジア及び欧州の中では弱さがみられるものの、全体としては緩やかに回復した。米国は着実に回復が続き、欧州地域では一部に弱さがみられるものの緩やかな回復が続き、一方、中国では景気は緩やかに減速傾向が続いた。

先行きについては、全体としては緩やかな回復が続くことが期待されるが、通商問題の動向、中国経済の先行き、政策に関する不確実性、金融資本市場の変動等によるリスクに留意する必要がある、激甚災害や新型コロナウイルス感染拡大による経済活動への影響に対する適切な対応が一層求められることとなった。

こうした中で2019年度の当工業会の事業としては、1) 国際展示会の開催に関する事業 (JIAM2020の取り組み)、2) 家庭用ミシンを使ったモノづくりの普及促進 (家庭用ミシン事業)、3) コネクテッドインダストリーズへの対応、4) 工業会活動の活性化及び効率化の推進等を行うとともに、業界の発展に係わる諸課題の克服に向け会員への支援に取り組み、市場活性化と更なる発展を目指して各種事業を実施した。

2. 活動概要

1) 国際展示会の開催に関する事業

当業界及び当業界が拘わるアパレル繊維業界の活性化と発展を期して「国際アパレル機器&繊維産業見本市 (JIAM2020)」の開催に向け以下の事業を実施した。なお、2020年3月7日開催の第161回理事会において、2020年5月開催の「JIAM2020 OSAKA」を2022年以降に延期することを決定し、関係者へ周知した。

(1) 開催概要

- ①会 期：2020年5月20日 (水) ～23日 (土) <4日間>
- ②会 場：インテックス大阪4, 5, 6 A, 6 B号館
- ③主 催：一般社団法人日本縫製機械工業会 (JASMA)

(2) JIAM2020実行委員会及びWGの開催状況

JIAM2020実行委員会を2回、JIAM2020実行委員会WGを8回開催し、出展申込状況、運営準備状況、来場誘致活動、主催者企画等について検討した。

(3) プロモーション活動について

①記者発表会の開催

- 日 時 2019年11月8日 (金) 16:00～17:00
- 場 所 ホテルグランヴィア大阪
- 内 容 出展申込状況等の概要について 他

②出展者説明会

- 日 時 2019年12月17日 (火) 14:00～16:00
- 内 容 出展細則及び会期までの準備手続き、来場促進活動等について 他

(4) 国内外展示会におけるJIAM2020のPR活動

下記の国内外展示会で必要に応じてJASMAブースを出展し、JIAM2020ポスターの掲示、出展案内の配付を行い、更に、展示会主催者や出展者ブースを訪問し、JIAM2020への出展勧誘及び来場誘致活動を行った。

①Texprocess 2019

- 会 期：2019年5月14日 (火) ～17日 (木)
- 会 場：フランクフルト国際見本市会場 (ドイツ)

②56th FISMA TOKYO (東京ファッション産業機器展)

- 会 期：2019年9月18日 (水) ～19日 (木)

会 場：東京ビッグサイト 西3ホール

③CISMA2019

会 期：2019年9月25日（水）～28日（土）

会 場：上海新国際博覧中心（中国・上海）

④2019台北紡織展（TITAS 2019）

会 期 2019年10月7日（月）～9日（水）

会 場 台北南港展覧会（台湾）

(5) 海外関係団体との交流

TITAS 2019会期中に展示会主催者（中華民国紡織業拓展会（TTF））とJIAMとTITASの相互協力について、意見交換を行った。

(6) JIAM2020ホームページでのPR活動

日本語ページの他、英語及び中国語ページでJIAM2020の情報を発信した。

(7) JIAM2020ニュースリリースの発信

①「JIAM2020 OSAKA記者発表会 in Texprocess」（2019年5月7日（火））

Texprocessでの記者発表会用、日本語版

②「Press conference for JIAM2020 OSAKA in Texprocess」（2019年5月7日（火））

Texprocessでの記者発表会用、英語版

(8) Eメール配信

①「記者発表会 in Texprocess」（5月7日（火））、国内プレス向け

②「記者発表会 in Texprocess」（5月7日（火））、海外プレス向け、英語

③「JIAM 2020 OSAKA早期申込特別割引締切日迫る!!!7月31日（水）まで」（7月1日（月））、国内出展者向け

④「Deadline for early bird price coming soon!!! By July 31 2019」（7月1日、海外出展者向け、英語）

(9) 広告掲載

①日本ミシンタイムス5月15日号（株式会社日本ミシンタイムス社、国内向け）

②The Fashion Machine News 4月号（日本ミシン新聞社、海外向け）

③J. S. N International 7月号（株式会社国際縫製出版社、海外向け）

2) 家庭用ミシン事業

ユーザーニーズが「画一性から個性化へ」と移行しつつある環境に応え、ホームソーイングへの親しみの場を設け、家庭用ミシン市場の活性化に努めるとともに、健全な市場の拡大を図るため以下の事業を実施した。

(1) ソーイングの普及促進について

①第40回ホームソーイング小・中・高校生作品コンクール（記念事業を含む）

「第40回ホームソーイング小・中・高校生作品コンクール」を実施し、学校教育におけるソーイングの普及拡大に努めた。応募校数及び応募作品点数の増加を図るため、経費に配慮しつつ、送付先と応募状況の関係を分析して、5月に学校へ応募要領（A3版両面）を郵送するとともに、Eメールでの配信（小学校1478校、中学校334校）を行い、学校への連絡を強化させた。また、第40回ホームソーイング小・中・高校生作品コンクールを記念して、「スポーツ観戦に向けた応援グッズ、応援コスチューム」の作品募集を行った。

a) 作品の応募状況

○応募作品点数 合計 3,161点（前回比 86.7%）

○応募校数 合計 459校（前回比 87.3%）

b) 審査経過

○第一次審査

日 時：2019年12月5日（木）～6日（金） 東京都内

○第二次審査

日 時：2019年12月21日（土） 東京都内

○審査結果

作品賞、学校賞、入選作品数一覧は、JASMAホームページ「ホームソーイング小・中・高校生作品コンクール」に掲載。

c)表彰式等

新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止する観点から、2020年3月7日（土）に予定した入選作品表彰式及び受賞者交流会を中止、当工業会ホームページで入選作品の発表を行った。

②第41回ホームソーイング小・中・高校生作品コンクールについて

第41回の実施内容等について引き続き検討を行うこととした。

③「ミシンの日」の事業

一般社団法人日本ホビー協会とのイベントの協業について検討し、主に手芸店において「型紙無しソーイング」によるワークショップ「はじめての服づくり」を実施した。

④2019日本ホビーショーへの出展

会期：2019年4月25日（木）～27日（土） 10:00～18:00（最終日は17:00）

会場：東京国際展示場（東京ビッグサイト）

内容：第39回ホームソーイング小・中・高校生作品コンクール優秀作品の展示及び会員メーカー5社によるソーイング体験コーナー実施等

⑤経済産業省子どもデーへの参加

日時：2019年8月7日（水）～8日（木） 10:00～16:00

場所：経済産業省 別館1階会議室

内容：ミシンの説明及び第40回ホームソーイング小・中・高校生作品コンクールのPR、会員メーカー5社によるソーイング小物作り体験を実施等

⑥ミシンを使った社会貢献に向けての取り組みとして、「2019日本ホビーショー」のソーイング体験費の一部等を東日本大震災の義援金として日本赤十字社へ寄付を行った。

(2) 市場の活性化について

①家庭用ミシン市場の流通適性を図るため、現行販売機種、新機種、廃機種を把握し、2019年4月1日及び10月1日現在の一覧表を作成し流通団体等に通知した。

②市場ニーズに的確に対処するため、2019年1月～3月分、4月～6月分、7月～9月分及び10月～12月分の国内販売機種について価格帯別の流通調査を実施し、調査結果を関係会員へ配布した。

③家庭用ミシン各社による販売キャンペーンの実施と広報活動を充実させるため、関係会員各社のイベント等を掲載した「ソーイング大好き」を発行した。また、ニュースレター及びホームページを利用して「技能士シール」、「テーブルスカート」の販売促進を行った。

④消費者及び地方公共団体、消費生活センター等からの問い合わせ、ミシンに関する各種の相談・照会に対処した。

3) 工業会活動の活性化及び効率化の推進

工業会と会員の発展のためその活動を広く周知させるとともに、工業会活動のさらなる活性化を図り且つその効率化を推進するため、以下の事業を実施した。

(1) 広報活動について

①政府が公表する各種統計を整備して、JASMA統計（ミシンの生産・輸出入）として、2019年分を毎月発行するとともに、工業会の事業活動をはじめ関係諸機関の動向を取りまとめたニュースレターを毎月発行した。

- ②外部に対して工業会の活動等を広報するため、JASMA会報を年4回発行するとともに、インターネットホームページの更新・充実に努め、工業会の事業活動等について広報を行った。
- ③日英版「工業会の概要」は定期的に修正等を行い、海外展示会等で配付しJASMAのPR活動に活用した。

(2) 内外関係機関等との交流及び協力に関する事業

①関係機関・団体との連絡協調について

ロボット革命イニシアティブ協議会との協調を図るとともに、経済産業省並びに関係官公庁からの依頼による調査の実施、繊維関係団体との情報共有、資料の交換等を実施した。更に当工業会が会員として加入している関係団体との協力関係の継続を図った。

②軽機械センターの運営に関する協力について

海外との交流、市場動向フォロー等の事業を進めるため、その一環として軽機械センター（ベルギー・ブリュッセルセンター及び中国・北京センター）の運営に協力するとともに、市場動向等に関する情報を収集し、会員へ提供した。

③海外関係機関との交流及び協力について

a) 2019年5月14日（火）から17日（金）まで、フランクフルト国際見本市会場（ドイツ）で開催された「Texprocess 2019」会期中の5月16日（木）に、見本市会場内のセンタービル「Torhaus」で関係4団体（JASMA、VDMA、SPESA、CSMA）による「三地域会議」が行われ、Texprocess 2019や今後の国際会議の在り方について意見交換が行われた。今後の国際会議は各国コアメンバーが出席することとし、4年に1度テーマを決めて開催することとなり、次回はJIAM2020会期中とした。

b) 2019年9月25日（水）から28日（土）まで、上海新国際博覧中心（中国）で開催された「CISMA2019」会期中の9月25日（水）に、「"the Belt And Road" International Cooperation Forum on sewing machinery industry」が行われた。

(3) 工業会活動の効率化の推進（工業会の収支バランスの回復に向けた対応）

①工業会活動の改革・見直しについて

②会員の負担軽減の検討について

③2019年度の正会員と賛助会員の会社概要調査結果の取りまとめを行った。

(4) 工業会活動の確実な実施

①生産性向上要件証明書の発行について

中小企業等経営強化法の固定資産税の軽減措置として、縫製機械等を対象とした証明書を440件発行した。

(5) 正会員、賛助会員の充実

内外展示会のJASMAブースでのPR活動及び中小企業等経営強化法に関する証明書の申請受付等に際して、工業会活動内容やメリットを広報し会員獲得に向けた取り組みを行った。

(6) 「縫製機械整備作業」技能検定に向けた取り組み

(7) コネクテッドインダストリーズへの対応

政府が進めるコネクテッドインダストリーズに対応して、当業界並びに川上から川下業界を含めた生産工程のデータ連携に取り組み、縫製機械製造業の競争力を高めることを目的に、当業界内に共通基盤ネットワーク研究会を設置して、縫製機械及び関連機器等の共通基盤に関する検討を行うため、以下の会合を開催し関係者との意見交換、情報交換を行った。

①2019年度第1回共通基盤ネットワーク研究会

日 時 2019年9月6日（金） 14：00～16：00

場 所 東海大学校友会館

内 容 a) プレゼンテーション

テーマ：「～安定した最高品質の服作りを目指して～IoT導入など、スマート化を進める縫製工場の取り組み」

②第2回共通基盤ネットワーク研究会

日時 2019年12月3日（金）、14:00～16:30

場所 東海大学校友会館

議題 1) 縫製用語統一の検討原案に関する報告 他

③第3回共通基盤ネットワーク研究会（中止）

2020年3月31日に報告書を取りまとめて研究会参加者へ配付した。

4) 使用技術の普及及び啓発に関する事業

(1) 知的財産権保護対策について

海外製品による知的財産権侵害品の流通実態の把握に努め、適切な対応を行い市場の健全な発展を図るため、以下の事業を行った。

①世界市場を対象とした「定期的模倣実態調査」及びCISMA2019（2019年9月）会場での実態調査を実施した。

a) 定期的模倣実態調査

ア) 侵害件数 14件（参考・2018年：11件）

イ) 権利別侵害件数

○意匠権 6件 ○商標権 7件 ○その他 1件

（参考・2018年：意匠権 1件、特許権 6件、商標権 4件）

ウ) 発見国別件数

○中国 12件 ○韓国 2件

（参考・2018年：ブラジル 1件、エクアドル 1件、中国 5件、台湾 2件、シンガポール 1件、日本 1件）

b) CISMA 2019模倣実態調査

ア) 侵害件数 159件（参考・CISMA 2017：217件）

イ) 権利別侵害件数

○意匠権 17件 ○特許権 139件 ○商標権 3件

（参考・CISMA 2017：意匠権 39件、特許権 143件、商標権 27件、その他 8件）

②政府関係機関の日本貿易振興機構（北京センター、上海センター、ソウルセンター）等の情報を入手し、随時、会員企業へ提供した。

③「国際知的財産保護フォーラム・模倣品対策 情報収集グループ」の会合へ参加し、関係団体等と情報を交換した。

(2) 外部技術視察

日時 2019年11月1日（金）、午後

場所 富士フィルム㈱神奈川事業所小田原サイト

概要 磁気テープにおける世界最大の生産工場の製造工程を見学した。参加者は当工業会関係者7名（事務局含む）であった。

(3) 電気用品安全法の技術基準体系の見直しに対応するため、他団体の分科会に参加し情報を収集した。

(4) 内外の環境規制に関する情報を収集した。

5) 生産、流通等に係る調査及び企画の立案・推進に関する事業

(1) 調査事業について

①海外調査

日本貿易振興機構及び軽機械センター（ブリュッセル、北京）等との連携を図り、主要国の需要動向、経済動向等について情報の収集に努め、会員へ提供した。

②国内調査

国が公表する政策、生産、国内流通、輸出入統計並びに諸団体が実施する諸統計資料等を収集整理分析し、「JASMA統計」「ニュースレター」等により会員等へ情報提供した。また、関係当局からの諮問あるいは関連団体、他業界からの照会等に対処した。

(2) 統計事業について

ミシンに関する経済産業省の生産動態統計及び財務省貿易統計を毎月入手し、整理・分析を行い、定期的に会員へ提供するとともに、一般に対してホームページで公表した。

(3) 需要見通しについて

内外の経済動向、市場環境、在庫等を勘案し、2020年1月～12月の需要見通しを2020年2月に策定した。

(4) 工業用ミシン・部品・関連機器事業について

情報社会、環境社会及びグローバル化の進展に対する的確に対応し、市場の活性化に努めるとともに、業界の健全な発展を図るため、以下の事業を実施した。

- ①国内及び海外市場について、日本機械工業連合会から週報等を定期的に収集するとともに、日本貿易振興機構及び軽機械センター（北京、ブリュッセル）から海外情報を収集し、定期的に会員へ提供した。
- ②グローバル化に対応し国際化に向けて対応するため、日本機械工業連合会の機械安全標準化に関する国際規格等（ISO/IEC）、日本機械輸出組合のWTO等の国際機関の情報及びEPA、FTA及びTPPなどの貿易協定に関する情報、国際連絡会議等で欧米及びアジア地域の情報を収集し会員へ提供した。

③市場対策第二委員会セミナー

日 時 2019年8月23日（金） 15：00～16：30

場 所 工業会会議室

内 容 縫製工場の適正な工賃交渉を支援するためのクラウドサービス「ACCT-System (Apparel Cost Calculator Technology System)」について説明が行われた。

6) 標準化の推進に関する事業

(1) 国内規格（JIS規格等）について

①「JIS C 9335-2-28：2019（家庭用及びこれに類する電気機器の安全性—第2-28部：ミシンの個別要求事項）が、9月20日（金）に公示、発行された。

②関連団体との交流を図り、規格に関する情報の収集を行い、随時、会員企業へ提供した。

(2) 国際規格（ISO/IEC規格等）について

国際規格活動（ISO/TC148・ミシン）を行い、工業用ミシンの国際規格（ISO 10821）の情報収集を行うとともに、国際標準化協議会及び一般社団法人日本機械工業連合会との交流を図り、機械安全（IEC/TC44）に当業界の専門家が参加し国際規格等の情報収集を行った。

7) その他、本会の目的を達成するために必要な事業

(1) 労働力の確保に関する事業について

業界全般の労務状況、働き方改革等について意見交換を行った。

(2) PL対策について

損害保険会社と団体PL保険契約を締結し対応した。

3. 会員

1) 会員の異動

2019年10月11日付で正会員1社が入会し、2019年6月10日付で正会員1社が退会した。

2) 会員数

	正会員	賛助会員	合 計
2019年6月7日現在	35社	9社1団体	45社・団体
入 会	1社		
退 会	1社		
2020年3月31日現在	35社	9社1団体	45社・団体